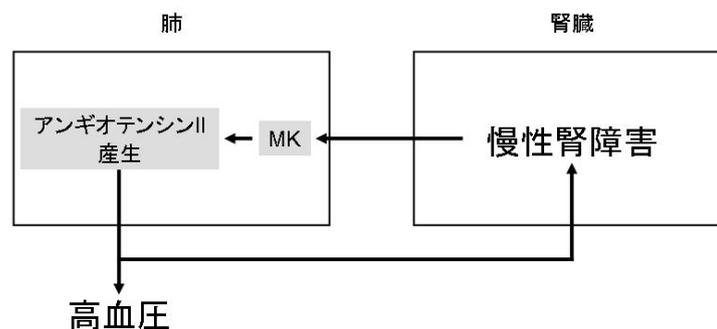


## 高血圧をコントロールする新しい因子を発見

名古屋大学大学院医学系研究科（祖父江元研究科長）の門松健治教授（分子生物学）、松尾清一教授（病院長、腎臓内科学）、湯澤由紀夫特命教授（腎臓内科学）のグループは慢性腎障害に伴う高血圧を成長因子ミッドカイン（MK）が引き起こすことを発見した。この発見は高血圧の治療法の開発に新たな道を開く。5月18日付け *The Journal of Clinical Investigation*（電子版）に掲載される。

慢性腎障害と高血圧の合併は生命を危険にさらす重篤な病態である。これまで腎障害がどのような機構で高血圧に繋がるのか不明であった。同研究グループはマウスの腎臓の6分の5を摘出することで慢性腎障害モデルを作成した。野生型のマウスでは高血圧が引き起こされたが、MKが欠損したマウスでは起きなかった。野生型マウスを調べると慢性腎障害によって肺でMKの産生が誘導されることが分かった。MKは血圧上昇の鍵となるアンギオテンシンIIの産生を促す能力があり、実際、MK欠損マウスの慢性腎障害モデルにMKを投与すると高血圧を引き起こした。

MKは門松教授らが発見した日本発の分子で、名古屋大学で長年にわたって研究されてきた。これまで癌、炎症、神経の生存などの多彩な機能を持つことが分かっているが、生活習慣病の重要な危険因子である高血圧の発症にも深くかかわることが今回明らかとなった。今回の発見を機に、同グループは未だ不明な点の多いMKの受容体の解明、MKを標的とした治療薬の開発を目指すという。



#### 問い合わせ先

■名古屋大学大学院医学系研究科

所属・職名：分子生物学 教授

氏名：門松健治

電話：052-744-2059

F A X：052-744-2065

E-mail：kkadoma@med.nagoya-u.ac.jp

■名古屋大学大学院医学系研究科

所属・職名：腎臓内科学 特命教授

氏名：湯澤由紀夫

電話：052-744-2198, 2192

F A X：052-744-2209

E-mail：yukio@med.nagoya-u.ac.jp

#### 広報担当

名古屋大学医学部・医学系研究科総務課総務企画掛

電話：052-744-2775

F A X：052-744-2785

E-mail：iga-souk@post.jimu.nagoya-u.ac.jp